

平成29年度 第2回 石巻地域産業人材育成・定着推進会議
参加者発言要旨及び意見交換等概要

開催日時：平成30年2月27日（火）午後2時～

開催場所：宮城県石巻合同庁舎 5階大会議室

1 会議の趣旨（座長）

「石巻地域産業人材育成プラットフォーム会議」の部会として、石巻地域の学生・生徒の「産業人材としての育成」、「地元企業による雇用」、「就職後の定着」に向けた具体的な取組を検討するため開催。本日は、本年3月26日（月）開催予定の「プラットフォーム会議」（以下、「親会議」）に向け、各機関の今年度の取組について情報共有を行うとともに、来年度の取組予定について意見交換を行うもの。

なお、今回の会議は2部構成とし、第1部で親会議の部会としての情報共有・協議を行い、第2部では「人材定着」をテーマに専門家に講演いただくとともに、今後の具体的な取組について出席者でワークショップを行い検討する。

2 出席者

【産業】

石巻商工会議所	地域・人づくり支援課人材育成担当課長	佐藤 洋一
女川町商工会	主査	笠原 悠平

【教育】

宮城県石巻工業高等学校	教諭	遠藤 一太郎
宮城県石巻北高等学校	教諭	山本 浩人
宮城県石巻北高等学校飯野川校	連携コーディネーター（東松島高等学校兼務）	本木 由紀子
宮城県水産高等学校	教諭	油谷 弘毅
宮城県東松島市高等学校	連携コーディネーター（石巻北高等学校飯野川校兼務）	本木 由紀子
石巻市立桜坂高等学校	教諭	小山 信
宮城県立支援学校女川高等学園	教諭	鈴木 瑞穂

【行政】

石巻公共職業安定所	統括職業指導官	後藤 慶志
石巻市産業部商工課	主任主事	関 善人
東松島市産業部商工観光課	商工政策班長	五ノ井 勝浩
	商工政策班 主査	浅野 沙都美
女川町産業振興課	商工労働係長	木村 利基
	商工労働係 主事	柴垣 聡美
宮城県教育庁高校教育課キャリア教育班	主任主査（指導主事）	太田 祐一
宮城県東部教育事務所	次長（社会教育主事）	熊谷 賢治
宮城県経済商工観光部産業人材対策課	企画班 主幹	佐々木 茂幸
宮城県経済商工観光部雇用対策課	雇用推進班 主事	八島 慧太
宮城県立石巻高等技術専門校	副校長	田代 永市
【事務局】宮城県東部地方振興事務所	【座長】地方振興部長	佐藤 健二
	地方振興部 次長（総括担当）	千葉 啓嗣
	商工・振興第一班 次長兼企画員（班長）	遠藤 佳貴
	【担当】主査	半田 純

【オブザーバー】

認定特定非営利活動法人カタリバ／女川向学館		多田 有紗
沿岸地域就職サポートセンター事業	石巻サポートセンター プロジェクトマネージャー	片山 真平
	塩釜サポートセンター プロジェクトマネージャー	上野 英律
宮城県経済商工観光部産業人材対策課キャリア教育推進事業事務局	一般社団法人 ISHINOMAKI2.0	斉藤 誠太郎

3 参加者発言要旨

第 1 部 : 親会議の部会としての情報共有・協議

報告 (1) 石巻地域の雇用情勢について (石巻公共職業安定所)

石巻公共職業安定所から、平成29年12月現在の石巻地域の雇用情勢について報告。

- ・ 有効求人倍率は2.07倍。昨年1月以来の2倍超え。ハローワーク築館管内に次いで県内2番目の高水準。なお、全県では1.65倍。依然として人手不足の状況が続いている。
- ・ 産業別の新規求人倍率は3.53倍 (当該月における新規の求職者/求人数。なお、求人の有効期限は最大3か月であるため、3か月で充足されなかった求人の繰越し分も含む)。相変わらず製造業と医療・福祉の求人が増加傾向。
- ・ 職種別の求人・求職バランスについて。「専門・技術」(建築・土木・看護師等の資格者)、「サービス」(介護助手・ホームヘルパー・調理等)、「生産工程」(製造業・水産加工業等)では求職数より求人数が非常に多い。逆に「事務」では求人数より求職数が多い。
- ・ このように、石巻地域では、介護・保育、建築、水産加工が人手不足の状況。人手不足により老人ホームが開業できないといった状況も聞かれる。ハローワークも現地で面接会を開く等の対策を講じているが、人が集まらない。
- ・ 求人・求職のここ3年間ほどの状況について。全体的に見ると、求人数・求職数ともに減少傾向にあるが、例年、夏～冬にかけて求人倍率が上昇していく季節変動が見られる。

報告 (2) 「石巻地域産業人材育成プラットフォーム」の平成29年度の取組実績について (事務局)

「石巻地域産業人材育成プラットフォーム」の取組の4本の柱立てに従い、平成29年度の取組実績を報告。

「1 人材育成・雇用・定着に関する情報共有と取組の充実」

- ・ 会議を通じ、各機関の取組を共有し、取組充実を図るもの。平成29年9月25日に第1回目の部会、10月6日に第1回目の親会議を開催。
- ・ 本日が第2回目の部会、平成30年3月26日に第2回目の親会議を開催予定。

「2 地域一体となった職業体験等、産業人材育成・雇用・定着の取組の推進」

(1) 協力企業・団体等と学校のマッチング推進

- ・ 地元企業・団体等における職場体験学習の受入体制等を掲載した冊子「産業人材育成・定着協働者ガイド」(事務局作成)により、職場体験学習を希望する高校・大学と受入企業等の円滑なマッチングを支援する取組。同ガイドの掲載事業所を108事業所(平成29年3月末現在)から138事業所(平成30年2月末現在)まで拡充。また、年度内に、延べ6校に対し、同ガイド掲載事業所等から社会人講師を派遣。

(2) インターンシップ活動の充実

- ・ 「石巻地域版インターンシップに関するガイドライン」に基づくインターンシップ活動を促進。(事業所・学校が事前にインターンシップについて計画を立て、体験内容等を協議して実施、事後に成果報告会を実施し活動の充実を図るもの。)
- ・ インターンシップは毎年夏頃に行われるものであるため第1回本会議から変更なし。

「3 企業と生徒・学生が接する場の提供等、地元就職の促進」

(1) 宮城労働局・石巻公共職業安定所・宮城県主催の合同企業説明会等の開催

- ・ 地域の生徒・学生が、地元の企業を知る機会を設け、地元企業就職に向けた理解醸成を図るため、「高校生のための合同企業説明会」(平成29年7月11日)や、「新規高等学校卒業予定者就職面接会」(同10月18日)に開催協力。

(2) 「人材確保・育成・定着セミナー」の開催時期見直し

- ・ 人材の採用・育成・定着の手法を学ぶ事業所向けセミナー。平成30年2月頃実施予定とされていたが、関係機関と調整の結果、より効果的な時期に開催することとし、平成30年5月

頃の開催を予定。

(3) 小中学生の産業学習旅行「しごと発見ツアー」

- ・ 地域の児童・生徒が、地域の産業現場を訪問し理解を深めることで、地域の将来を担う人材の育成につなげるため、東松島市（平成29年8月8日）、女川町（同8月10日）、石巻市（同11月10日）で小中学生の「しごと発見ツアー」を開催。地元企業・施設の見学、作業体験等。
- ・ また、石巻専修大学、商工会議所・商工会、各市町の協力を得ながら、地域の児童・生徒が地域の産業を学ぶための「産業学習マップ」及び「産業学習ハンドブック」を作成。（平成30年3月中旬完成。）

「4 就職後の地元定着応援」

(1) 高校生対象「声出し・話し方」セミナー開催

- ・ 初歩的なあいさつを含めたコミュニケーション能力の向上により、就職後の職場定着を促進するもの。平成29年7月～平成30年2月にかけて3校で開催。

(2) 「新入社員・職員研修会」開催

- ・ 地域の事業所の従業員の地元定着を支援するため、商工会議所・商工会と共催し、研修の自主開催が困難な事業所等を対象に新入社員・職員研修会を開催。（6月27日開催。30事業所・48名参加）

報告（3） 各機関の平成29年度の取組実績と平成30年度の取組予定について

出席各機関から報告。

① 石巻公共職業安定所

- ・ 平成29年度の新規高卒者に対する就職支援の取組について。平成29年度新規高卒者の就職内定率は、平成12月末現在で92.1%。ハローワークに記録のある平成2年以降、12月では最高の数字。うち石巻管内希望者の内定率は90.9%。就職未定者約40名。各高等学校と連携して内定に向け対応していく。
- ・ 平成29年度のイベント関係について。平成29年5月18日に十数年ぶりに新規高卒者対象求人説明会を開催（企業103社参加）。同5月末に、企業の求人動向等を把握するためのアンケートを実施（対象230社）。
- ・ アンケートは7月11日の合同企業説明会の周知も兼ねており、この時点で100社程度の参加希望が寄せられたことから、説明会の企業参加枠を平成28年度の55社から67社に増やして対応。その甲斐あってか、生徒も前年の倍の407名が参加。
- ・ 同10月18日には新規高卒者就職面接会を開催。企業52社参加。生徒は平成28年度の40名を上回る55名参加。
- ・ 平成30年度は基本的に平成29年度と同様のイベントを実施予定。今年度より更に早期の内定に向けて取り組んでいきたい。

② 石巻専修大学（石巻専修大学：欠席につき事務局から報告）

- ・ 平成29年度、「(i)進路ガイダンスの質の向上」「(ii)個別相談体制の強化」「(iii)教職員の連携強化」の3点を取組強化。
- ・ (i)として、1年生で「キャリア設計」の授業を実施。2年生では経営者を招いての経営者セミナー及び3年生のインターンシップの準備、3年生ではインターンシップや大学主催の合同企業説明会、4年生では履歴書添削や模擬面接など、学年ごとに段階を踏んで取り組んだ。
- ・ (ii)としては、3年生の夏期休暇期間の課題として履歴書を作成し、キャリアカウンセラーが個別に添削・アドバイス。
- ・ 平成30年度の取組予定としては、まず、2年生での「キャリア開発」授業の実施。平成29年度に1年生で開始した「キャリア設計」、31年度から3年生で開始予定の「キャリア研究」、と段階を踏んで就職意識を高める進路支援プログラムとしていく予定。

- ・ 次に、インターンシップ参加の促進。主に石巻でのインターンシップ強化に当たり、県東部地方振興事務所作成の「産業人材育成・定着協働者ガイド」を活用したい。更には、東部地方振興事務所でのインターンシップ受入も検討いただきたい。

③ 各高等学校

出席各高等学校から、「取組を進めていく上で、地域の関係機関に期待すること」を中心に発言。

イ 宮城県石巻工業高等学校

- ・ 様々な取組を行う中で、工業高校ということもあり昔から企業との繋がりは強い。クラブトマン21事業等の支援を受けながら取組を行うことも多い。
- ・ しかし、学科によっては企業との繋がりが弱いところもある。ついては、引き続きこのような場に参画していきたいし、今後、関係者の皆様には具体的にお世話になるかもしれないのでよろしくお願いしたい。
- ・ 製造業・建設業の求人が多いこともあり、内定状況は好調。しかし、定着状況が把握できていない。実態把握に向け、企業からの情報が欲しい。

ロ 宮城県石巻北高等学校

- ・ キャリア教育の機会が多い。1年次、OB講話。2年次（教養系列）、経営者・従業員講話。3年次（教養系列）、声出し・話し方セミナー等。県東部地方振興事務所の事業を活用。
- ・ 生徒に夢を与え、適性を考えさせる取組が必要。一般の会社で働いている一般の人々は、どのような夢ややり甲斐を持って働いているのか。それを生徒に伝えなければならない。生徒はそれが分からないまま就職し、入社したら適性を考える間もなく即戦力となることが求められる。
- ・ そこで来年度は、テーマを明確にし、地域の社会人10名程度をお招きして、どのような夢ややり甲斐を持って働いているか、どのような適性を持った人がどのようなところで働いているか、ヒントを頂くような取組を考えている。引き続き県東部地方振興事務所には相談していきたい。

ハ 宮城県石巻北高等学校飯野川校・東松島高等学校

- ・ 石巻北高等学校飯野川校について。生徒数に対して進路行事が豊富。今年度、初めての取組として「ステップアップインターンシップ」を実施。就労に困難を来している生徒について、勤労の資質を段階的に高めていく取組。地域の支援団体と連携・協力しながら実施。
- ・ 東松島高等学校について。今年度、事前指導の空き時間を活用して1・2年次で就職講座、3年次で租税講座を実施。就職講座では外部講師を招いて、基本事項・身だしなみ・言葉遣い等を指導いただいた。税務講座は石巻税務署職員にお越しいただき、税の種類・意義・役割等を学んだ。
- ・ 連携団体について。石巻NOTE、石巻サポートセンター、石巻サポートステーション、ISHINOMAKI2.0等と連携。今年度からの取組であるため連携体制がまだ十分でなく、来年度は更に連携を深めていきたい。

ニ 宮城県水産高等学校

- ・ 様々な取組を行っているが、2年生からコースが分かれるので例年充実した指導ができています。今年度、学校に関連する専門系の仕事に就く生徒が8割。職業教育としては上手くいっているのでは。
- ・ 一方で、1年生から2年生に上がる際に、「自分の将来をどう考えるか」という部分が足りない生徒もいるのが課題。来年度はその辺りを重点的に取り組んでいきたい。
- ・ 生徒に将来設計を考えさせていくに当たり、「何歳くらいでいくらくらいのお金が必要か」という情報が必要。難しいとは思いますが、地域の企業の賃金モデルがあると生徒も分かりやすい。
- ・ 離職した生徒の話を知ると、大きな理由の一つが人間関係、もう一つが賃金が上がらないこと。そのような現状を知った上で、地域に残るかどうかを選択できる。選択に必要な情報が欲しい。

ホ 石巻市立桜坂高等学校

- ・ 普通科の高校だが就職希望者が多い進路多様校。様々なキャリア教育の取組を通じて、就職すべきか・進学すべきか、進路について生徒たちに考えさせている。
- ・ 今後は、新学習指導要領にも記載があるが、「探究」が求められる。何を探究するか、それを自分たちで考え、行動に移して、結果を振り返る、ということを繰り返していかなければならない。学校だけでは難しい。より地域に協力いただき、生徒たちと一緒に育てていただきたい。
- ・ 定着の問題もある。普通高校においては、年々、進学傾向が高まっている。そのような中で、石巻に戻ってきたいと思うような記憶を生徒たちにどう植え付けるか。また、石巻で受け入れるに当たって賃金の問題もある。大卒賃金はどれくらいになっているのか、情報が欲しい。そうすれば生徒たちも、将来石巻に戻ってきて頑張りたいという気持ちになるのでは。

へ 宮城県立支援学校女川高等学園

- ・ 開校2年目。軽い知的障害の生徒が各学年25名、26名在籍。来年度、新入生26名を迎え、ようやく3学年体制となる。
- ・ 知的障害の生徒たちは座学を苦手としているため、実践的な学習が定着しやすい。職業教育をメインに行っており、産業技術科という学科を設置。その中でも、専門教科コースを「食品製造」「福祉」「サービス」の3コース設置。2年生から各コースに所属し、専門的な職業教育を行い、資格を取得しながら卒業していく。100%の就職を目指す。
- ・ 産業現場における実習も実施。特別支援学校では、インターシップよりも長期の3週間、複数回実施する。受入企業も、生徒たちの課題・長所を理解した上での雇用となる。
- ・ スターバックスコーヒー社（接客）、ハローワーク・行政（求人票の見方・福祉制度）といった外部講師による授業も実施。県東部地方振興事務所の「声出し・話し方」セミナーも。生徒たちは毎日発声練習をしている。
- ・ 来年度、初めての卒業生が新社会人として地域に出ていく際には、関係者の皆様の御協力をお願いしたい。

④ 宮城県東部教育事務所

- ・ 管内小中学校の取組について。県教委では、現在、「学校・家庭・地域社会が連携して育てる仕組み」づくりという方向で取り組んでいる。具体的には、子どもたちが夢と希望を持って将来を見据える態度を育てる志教育そして地域学校協働活動、という大きな柱で取組を進めている。
- ・ 小中学校それぞれにおいて、地元産業の体験的な学習や見学、異校種交流といった取組を実施。中学校では、平成28年度のデータだが、100%の学校が地元企業の職業体験を行っている。各市町においても、地元企業・一次産業の様々な体験を行っている。
- ・ 子どもたちの意識をどう高めるか、青年層・若者の意識向上をいかに支援していくかが課題。

⑤ 石巻市

- ・ 平成30年度新規事業「人材マッチングプラットフォーム事業」について。市内の人手不足対策の一環として検討を始めた事業であるが、人材の定着支援にもつながると考え紹介させていただくもの。
- ・ スマートフォン等を介して仕事をマッチングする、なおかつ簡単な仕事でも発注できるようにするシステムを導入するもの（対象者は18歳以上）。既に東京等の大都市圏では類似のシステムが稼働しているが、例えば「人気のパン屋に〇〇円で並んでパンを買ってきて欲しい」というようなニーズと、それが可能な人をマッチングするシステム。
- ・ 石巻市で導入を予定しているのはそのシステムの「仕事版」で、例えば繁忙期に「日給〇〇円で牡蠣をむいて欲しい」といった仕事を簡単に発注し、マッチングできるシステム。
- ・ 就労のハードルを下げて手軽に就労できる仕組みの構築により、地域企業を知る効果が得られ、人材の定着支援にもつながるものと期待している。

⑥ 東松島市

- ・平成29年度、鳴瀬未来中学校では、コミュニティ・スクールによる「職業人の話を聞く会」を実施。地域の様々な職種の方々からのお話を伺った。矢本第二中学校では、社会で働く卒業生の話を聞く取組も実施。
- ・市内中学校全3校で、職業体験も実施。2年生が市内外の96事業所にお邪魔して体験学習を行った。
- ・平成30年度は、「東松島市中小企業・小規模企業振興条例（平成30年1月1日施行）」の制定に伴い、振興基本計画を策定することとしており、中小企業・小規模企業の人材育成・雇用に関する内容を盛り込む予定。
- ・また、市報等により、市内の新卒者に対して誘致企業の求人紹介等の情報提供を行っていく予定。

⑦ 宮城県立石巻高等技術専門校

- ・平成29年度の取組実績について。入学者のほとんどは就職先のターゲットを絞って入学してくる。本校の中では、上手く就職して即戦力となるような技能・技術を身につけてもらう取組を行っている。
- ・高校新卒者等を対象とした1～2年間の「普通課程」として、自動車整備科、金属加工科、木工科がある。自動車整備科・金属加工科はそれぞれ20名・7名全員が内定獲得。木工科については5名中3名内定。未内定者には引き続き支援を行う。
- ・離転職者や在職者を対象とした12時間～半年間の「短期課程」について。溶接科（1名）・配管科（3名）いずれも入学者は少ない。
- ・このほか、施設外では「委託訓練」としてパソコンや簿記の基礎や、介護研修等を実施。こちらも入学者は減少傾向で、13コース企画していたが4ケースが中止。
- ・就職対策について。専門技術の習得を第一にし、生活指導を絡めて人間形成を行い、在学中の資格取得も積極的に進め、本人が自信を持って就職活動できるよう支援。三者面談等で志望先を決め、就職の心構えや面接指導を実施。
- ・毎年、定着調査を実施。修了後3年後に就職先にアンケート。平成22年からデータを取っているが、平成22年～25年の平均で、3年定着率は60%程度。
- ・委託訓練においても就職ガイダンスとして応募書類作成指導や面接指導を行い、約8割程度の就職率となっている。
- ・その他、技能検定支援業務支援や、定時制高校等職業教育充実事業（高校教育課）への協力も。
- ・平成30年度は、基本的に同様の取組を行う予定であるが、委託訓練の実績が下がっているため、10コースに減らして企画。

協 議 「石巻地域産業人材育成プラットフォーム」の平成30年度の取組予定について

「石巻地域産業人材育成プラットフォーム」の平成30年度の取組予定について、事務局から案を提示し、承認された。

【平成30年度の取組予定】

平成29年度に引き続き、石巻地域の「産業人材育成・雇用・定着」の推進に向け、次の4本の柱立てに従い、関係する取組を展開する。

「1 人材育成・雇用・定着に関する情報共有と取組の充実」

- ・会議を通じ、各機関の取組を共有し、取組充実を図る。親会議・部会ともに年2回開催予定。

「2 地域一体となった職業体験等、産業人材育成・雇用・定着の取組の推進」

(1) 協力企業・団体等と学校のマッチング推進（拡充）

- ・地元企業・団体等における職場体験学習の受入体制等を掲載した冊子「産業人材育成・定着協働者ガイド」（事務局作成）により、職場体験学習を希望する高校・大学と受入企業等の円

滑なマッチングを支援。平成30年度は、同ガイドの掲載事業所を拡充し（160事業所目標）、新規1～2校と事業所のマッチングを目指す。

(2) インターンシップ活動の充実（拡充）

- ・ 「石巻地域版インターンシップに関するガイドライン」に基づくインターンシップ活動を促進。平成30年度、石巻専修大学において「石巻地域版インターンシップ」の実施を検討中。

「3 企業と生徒・学生が接する場の提供等、地元就職の促進」

(1) 宮城労働局・石巻公共職業安定所・宮城県主催の合同企業説明会等の開催

- ・ 地域の生徒・学生が、地元の企業を知る機会を設け、地元企業就職に向けた理解醸成を図るため、「合同企業説明会」「就職面接会」に開催協力。平成30年度からは、これら行事に対し「石巻地域産業人材育成プラットフォーム」として「後援」予定。

(2) 「人材確保・育成・定着セミナー」の開催

- ・ 人材の採用・育成・定着の手法を学ぶ事業所向けセミナーを開催。平成30年5月頃予定。

(3) 小中学生の産業学習旅行「しごと発見ツアー」

- ・ 地元の児童・生徒が、地元の産業現場を訪問し理解を深めることで、地域の将来を担う人材の育成につなげる「しごと発見ツアー」を開催。

「4 就職後の地元定着応援」

(1) 高校生対象「声出し・話し方」セミナー開催

- ・ 初歩的なあいさつを含めたコミュニケーション能力の向上により、就職後の職場定着を促進。（3校程度で開催予定。）

(2) 「次代を担う産業人材応援事業」実施（新規）

- ・ 新入社員・職員に加え、新たに入社3年目程度の若手や中堅層をターゲットにした階層別の研修会を開催するとともに、コミュニケーション能力向上等の分野別セミナーを関係機関と連携し実施。

○ 「ものづくり企業コーディネーター」の配置（新規）

- ・ 上記のほか、県東部地方振興事務所に新たに配置予定の「ものづくり企業コーディネーター」が地元企業及び地元高校等を訪問し、情報共有・連携を図りながら、人材の更なる地元雇用と定着を促進。

第2部 : 「人材定着」をテーマとした専門家の講演とワークショップによる具体的取組の検討

講演 「新規学卒者の早期離職を防ぐために」

（講師：ヒトベース株式会社（仙台市）代表取締役 渡辺 徹 氏）

ワークショップ 「石巻地域の人材定着に資する研修プログラムについて」

講演講師の進行により会議出席者でワークショップを行い、地域の人材定着に効果的な新入・若手社員向け研修のプログラムの在り方や盛り込むべき要素等について検討。関係者の意見を、平成30年度に県で実施を予定している研修会事業（上記4-（2）「次代を担う産業人材応援事業」）のカリキュラムに反映させていくことを目指す趣旨。

ワークショップでは、地域の新入社員・卒業生・生徒に関する「①企業等から寄せられる声」や「②身に付けた方がよい要素」について意見交換を行い、「コミュニケーション能力」「ストレス耐性」「積極性・主体性」「ビジネスマナー・一般常識」についての意見が多く聞かれた。

以上